

シスメックスの森 第11回定期時動 プログラム概要 2018年5月27日

Outline of the Sysmex Forest activity May 27,2018

大人のプログラム Program for adults

(1) 間伐 経験者作業 for the experienced Thinning trees

- ・直径20cm以下(中径木)の常緑樹(ソヨゴ、カシなど)を手ノコで根元から伐採する。
(木を倒す際には、周囲に声掛けする)
- ・幹は、1-1.5mの長さに切る。枝葉を1m以内に切断する。
- ・まとまった量を木の根元などに集積する。



(お願い)

- ・保存する木・植物には目印を付けていますので、それを参考に作業して下さい。
- ・作業中はリーダー(青色ヘルメット)の指示に従って下さい。

(2) 茂み除去 初心者作業 for beginners and females Clearing bushes

- ・ヒサカキ、ササの密集している茂みを刈り取り、林内を明るくする。刈取りは、手ノコあるいは園芸用刈込バサミで行う。
- ・刈り取った枝葉は場所を決めて集積する。



(3) 山道整備 経験者作業 for the experienced

Fixing mounting trail

1 古くなった枕木の交換

- ・地面を、枕木が座るよう整える。
- ・バールで、杭打ちする地面に導入用の穴をあける。
- ・枕木を置き、杭を打ち込む。
- ・枕木の隙間に土を詰めて踏み固め、グラツキがないようにする。



(4) モミジ植樹 初心者作業 for beginners and females

Planting Japanese maple trees

1 モミジの苗を20本植樹します。

- ・穴を掘り、堆肥を入れる。
- ・穴に水を与え、苗を入れ土を被せる。
- ・支柱をし、再度水を与える。



(1) 森のフォトアルバム作り

Creating a forest photo album,
which are to be posted on an internal site

ー作品は社内サイトで公開しますー

- 1 スマホ・デジカメでシスメックスの森を撮影
 - ・気に入った景色、樹木、草花、生き物、水辺などを撮影。
- 2 家で、パワーポイントを使って写真集に編集
 - ・その際、樹木・草花、感想などのコメントを付ける。
 - ・スタイルは自由です。
- 3 データをシスメックスの森事務局に送付
- 4 社会貢献サイトのシスメックスの森欄に掲示志、社内に公開します。

(2) 日本原産ブルーベリー作りに挑戦

Challenging a stem cutting,
in which we will grow blueberry-like trees

ー今回、シャシャンボ(小小坊)を挿し木で育てますー

- 1 ポットを準備する。
 - ・土を入れ、軽く水を与える。
- 2 挿し穂を用意する。
 - ・2,3節を目安に10～15cmの枝に切断する。
 - ・上部の2,3葉を残す。
 - ・下の部分を斜めにカットする。
- 3 挿し穂をポットに挿し穂を差し込む。
 - ・挿し穂の半分を土に挿し、グラグラしないように根本を押さえる。最後に水を与える。

【シャシャンボとは】

- ・関東南部から九州までを原産とするブルーベリーの仲間
- で「日本のブルーベリー」と呼ばれる。
- ・晩秋になると黒紫色に熟す実は甘酸っぱく、生食できる。
- ・小さな果実が並んで実る様を「小小坊」と表現して名付けられた。



シスメックスの森 フォトアルバム(例)

森 凜子: ○○本部○○部

作成: 撮影者の名前

またはハンドルネーム(アルファベット)



参考資料：さし木の基本 1 Basic procedures for stem cuttings 1

1. さし木の手順

① 水揚げ



水に30分～1時間ほど水につける

② ポットに土を入れる



赤玉土、ミズゴケ、シスメックスの森の土の3種をポットに入れ、よく混ぜる。水を与える。

③ さし穂にする枝を切り取る



2,3節を目安に10～15cmの長さに切り分ける。軟らかい新芽は不適。

④ さし穂の葉量を調整する



上部の葉を2,3枚残し、下部の葉は取り除く。大きい葉は半分にカットする。

⑤ さし穂をカットする



カッターナイフで、45度にスパットと切る。次に反対側の表皮を1～2cmの範囲で薄く削る。

⑥ さし穂を土にさす



さし床に、さし穂の1/2の深さで、少し斜めにさす。

2. さし木のポイント

注意点	要点
時期	時期は、5～7月が最適。
さし穂	さし穂は、柔らかい新芽は不適。それ以降の固まった、しっかりした枝、あるいは前年度のものを使う。
土	一般的には、鹿沼土、赤玉土を使う。 今回は、赤玉土+ミズゴケ+シスメックスの森の土 のミックスを使用。
場所	直射日光を避けて、西日の当たらない半日蔭で育てる。室内では、窓際などの明るい場所でもOK。
水やり	土の表面が乾いてから与えます。土が湿っている状態では与えない。

さし木と水分の関係 ー水分管理の重要性

さし木は、さし穂の切断面から土に含まれる水を吸い上げるが、当初は根がないので吸水能力は極めて低い。一方、葉からは水分が蒸散されるので、枯れやすい状態にある。以上より、

- ①さし木は、日差しが強くない半日蔭に置く。
- ②さし穂の葉の枚数、面積を最小限にする。葉の大きいものは、半分に切る。
*葉は、光合成により体成分を合成するのに必要。
- ③ある程度保水性のある用土を選ぶ。
- ④さし穂を枯らさないよう水を与える。

根が出てくるのは、1か月後なので、この間の管理が重要です。

(その後) 1年後の同時期頃に、根を傷めないようにさし木を取り出し、1本ごとに大き目の植木鉢・ポットに植替えする。